

和桜の鷲・洋桜の鷹

川原 啓一郎

不統一印の多くは1871~75年頃使用され、これまで3000点ほど確認されている。この印は切手の抹消を目的に作られたものと、局所名などを証示する事を主目的とするものがある。

展示の2つのカバーは、国内郵便料金が2匁ごとに市内1銭、市外2銭の均一制となつた時の明治6年4月1日以降のもの。①は奈良県東吉野村鷲家(わしか)から、②は秋田県北秋田市鷹巣(たかのす)から差立てられている。

①和桜仮名なし1銭 松田印刷



②洋桜仮名入り1銭

